

RX-451

Digital High Response

2.4GHz

670A02121A

取扱説明書

このたびは、SANWA 2.4GHz RX-451 レシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意 安全に使用していただくための注意事項

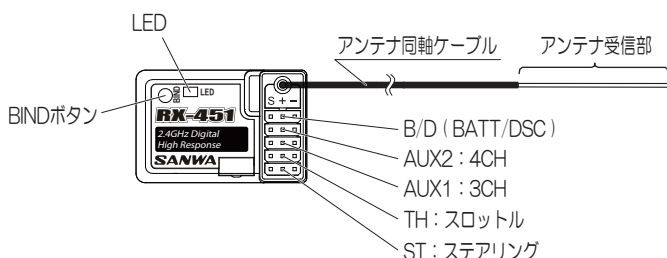
- RX-451 (2.4GHz 帯スペクトラム拡散方式レシーバー) について、本製品はSANWA製 M11X専用です。その他のAM/FMプロポには使用できません。
- 2.4GHz 帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM (産業、科学、医療) バンドと共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意をして使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行(航)させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られているプロポやモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られているプロポやモジュールの使用を推奨します。



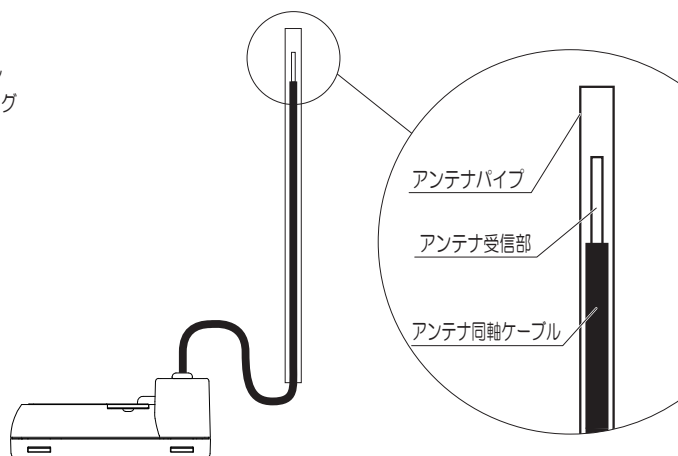
※技術適合証明ラベル

2.4GHz

各部の名称とアンテナの取扱いについて



- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に、折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。



2.4GHz BIND (バインド) の設定方法

※BIND (バインド) とは：M11Xはそれぞれ固有のID (固体識別) 番号をもって、そのID番号をレシーバーに記憶させること (BIND/バインド) です。BIND設定したM11Xとレシーバーのセットでしか動作しないようになります。

①M11Xの電源SWをONにして、SET-UPメニューの[BIND]にカーソルを移動します。

②RX-451のBINDボタンを押しながら、レシーバー側の電源SWをONにします。

③RX-451のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら、レシーバーのBINDボタンを離します。

※RX-451のLEDがゆっくりとした点滅になる前にBINDボタンを離した場合、BINDモードに入らない場合があります。

再度②の作業からやりなおしてください。

④RX-451のLEDがゆっくりとした点滅をしているときにM11Xの★ボタンを押して、次にENTERボタンを押します。

⑤RX-451のLEDが早い点滅になり、その後LEDが点灯したらBIND設定は完了です。

サーボ等を動作させて確認してください。

※BIND設定の途中でレシーバーのLEDが消灯してしまったり、BIND設定が完了しない場合は①の作業からやり直してください。

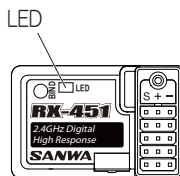
⚠ 注意

■出荷時にはBIND設定されていませんので、ご使用になる前に必ずBIND設定をおこなってください。

■必ずBIND設定した送信機/モジュールとレシーバーのセットでお使いください。

2.4GHz レシーバーLEDの状態

レシーバーLEDの点灯によってレシーバーの動作状態がわかるようになっています。



レシーバーLEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND (バインド) 設定中	青点滅、青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	赤点灯



注 意 安全に使用する際の注意事項

- RCカーに搭載したときに、アンテナ受信部がなるべく高い位置になるように設置してください。
- アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
- 受信機のアンテナはモーター、FETスピードコントローラー (配線も含む) から離して、垂直に立ててください。
- 走行中の振動でコネクタが抜けると、暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクタは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振/防水対策を確実におこなってください。対策を怠ると暴走の危険があります。
- 受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して取り付けてください。
- RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動RCカーのモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。
- ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- サーボには必ず付属のアブソーバーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し、暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー、送/受信機バッテリー等のプロポパーツは、SANWA純正品をご使用ください。

※SANWA純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

2.4GHz 修理について

調子が悪いときはまずチェックを！

修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、お近くのサービスへ修理依頼してください。

また、ご質問、お問い合わせがありましたら、お近くのサンワサービスにて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。

修理依頼カード

このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒に送ってください。

フリガナ
お名前

電話 ()

〒

ご住所

故障状況



SANWA

三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 TEL072 (964) 2531

東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 TEL03 (3862) 8857

〈本社サービス〉東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 TEL072 (962) 2180

〈東京サービス〉東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 TEL03 (3862) 8858